

令和6年度 授業づくりシート

教科名		自立活動		I	学年
単元名	「自分の身体を知ろう！～楽しく身体を動かして休めよう～」				
単元の目標	・歩行箱で歩いたりやトランポリンで跳んだりすることを通して、身体の動かし方を知ることができる。 ・身体の力を抜いたりマッサージを受け入れたりすることができる。				
児童の実態	A 児	個人情報のため省略			
児童の個別目標	A 児	・からだほぐしでは、教師の関わりを受け入れることができる。 (人間関係の形成、環境の把握) ・活動に見通しをもち、自ら身体を動かすことができる。 (心理的な安定、環境の把握、身体の動き)			

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・からだほぐし	・音楽に合わせて身体を揺らしたり歌ったりする。 ・過敏な部位に触れられると全身に力を入れてくすぐったがる。	・教師から目を合わせて歌うことで、マッサージを受け入れたいくなるような楽しい雰囲気を作る。 ・初めは、肩やふくらはぎなど、受け入れやすい部位から触れるようにする。
・あるこう！とぼう！	・歩行箱では、一人で歩くことを怖がり、教師と手をつなごうとする。 ・トランポリンでは、両手をつなぎタイミングを取ることで高く跳ぶことができる。	・初めは手をつなぎながら、歩行箱の高さまで足を上げる感覚に慣れる。徐々に背中に手を添えて、自分の力でバランスをとれるようにする。
・リラックスタイム	・言葉かけや促しを受けて、マットに向かい、横になることができる。	・言葉かけは最小限にして、電気を消したり BGM をかけたりして、本人の動きを待つようにする。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
1分	○初めの挨拶 ・手遊び歌を歌いながら挨拶をする。	
4分	○からだほぐし … イラストカードで行うからだほぐしを伝える。 ・「一本橋こちょこちょ」 自分から手を出す、目を合わせるなど児童の姿に合わせて、歌に抑揚をつけながら行う。 ・「巻き寿司コロコロ」 力加減を変えながら、二の腕、太ももなどを両手でマッサージする。マッサージする場所を触れたり言葉かけしたりして事前に伝える。	
10分	○あるこう … 歩行箱、歩行板、トランポリンの順番に裸足で歩く。 ・「歩行箱」児童が一人で跨げるギリギリの高さで行う。 ・「トランポリン」10回跳べるよう、手を添えて行ったり一緒に跳んだりする。	
4分	○リラックスタイム … セラピーマットやクッションに背中をつけ横になる。 ・部屋を暗くしてオルゴールをかける。 ・腰骨揺らしや身体に触れて、全身の力を抜くよう促す。	
1分	○終わりの挨拶 ・手遊び歌を歌いながら挨拶をする。	

○児童の授業に取り組む様子

A 児	・同じ流れて繰り返し取り組むことで活動に見通しをもち、授業開始前に着席し、自分から歩行箱を歩いたりセラピーマットに移動したりする様子が見られた。歩行箱は、一人でも取り組めるようになってきた。 ・からだほぐしでは、落ち着いて教師の関わりを受け入れられることが増えた。「巻きずしコロコロ」では、特に内ももに触れられることを嫌がっていたが、毎回の積み重ねで、触れている間、力を抜けることが増えた。
-----	--

グループ全体の反省・課題 等

- ・児童が安心して取り組める活動だった。毎回同じ流れで取り組むことで少しずつ成長が見られた。
- ・歩行箱やトランポリンでは、教師が支えとなってバランスをとった。自信をもって取り組む様子が見られてきたので、今後いろいろな経験を重ねながら、発達段階に合わせて、自分でできる活動やそのための手立てを探したい。
- ・リラックスタイムでは、クッションを使って力を抜ける時間が増えた。まだまだ落ち着いていられない児童もいるため、引き続き教材や道具を試しながら、児童がリラックスできる方法を見つけられるよう考えていきたい。